

# 「グラス・テイスティング」

## 第1回 リーデル・グラス・エデュケーター列伝 ゲオルグ・ヨーゼフ・リーデル

オーストリアで250年の伝統を誇る〈リーデル〉は、グラスの形状によってワインが大きくその味わいの印象を変えることに着目し、「ワインを、造り手が目指したコンセプト通りに正しく味わう」という、誰も考えなかったグラスを生み出した。ワインとグラスが幸せなマリージュを遂げた時の感動をより鮮烈に人々に伝える役割を担うのが、同社の「グラス・エデュケーター」たちである。



ゲオルグ・ヨーゼフ・リーデル

1949年、オーストリア・インスブルック生まれ。87年、10代目当主となりリーデル社社長に就任。よりグラスの理解を深めるグラス・テイスティングの確立者として、現在も世界中を飛び回り活躍を続けている

text by Muncharu Takayama

## リーデル社とは

モーツァルトと同じ年にオーストリアに誕生したリーデル社は、「ワインを、造り手が目指したコンセプト通りに正しく味わう」グラスに、世界で初めて本格的に取り組んだグラスメーカー。1958年に発表された「ブルゴーニュ・グラン・クリュ」は、その嚆矢であった。

それから五十余年、ブドウ品種やスタイル、あるいはビールやスピリッツ、果ては日本酒に至るまで、さまざまな飲み物に合わせたグラスの品ぞろえは200種にも上っている。

グラスとワインの相性は、論理的なことばかりでは片付けられない。開発にあたってリーデルが何よりも大切にしているのは、ワインの造り手も交えた多くの専門家が参加するワークショップである。人々が検討を重ねることで生まれるグラスには、機能性は言わずもがな、その誕生の過程にも物語やエンターテインメントが秘められている。そうしたグラスの素晴らしさを人々にわかりやすく、楽しく伝えるノウハウを持っているのが「グラス・エデュケーター」である。世界にたった6人しかいない彼らは、今日もさまざまな国でグラスの魅力語り続けている。

## グラス・テイスティングの 確立者ゲオルグ・リーデル

リーデルの顔といつて差し支えないであろうグラス・テイスティングのコンセプトを、一から作り上げたその人が、ゲオルグ・ヨーゼフ・リーデルである。1949年、オーストリアのインスブルック生まれ。73年から家業に従事し、87年、父の後を継いで10代目当主となった。父が打ち出した「ワインを、造り手が目指したコンセプト通りに正しく味わうグラス」というコンセプトを継承した上で、彼はマシメイドのヴィノムシリーズを開発するなど、多くの人々にリーデルを用いる楽しさを伝える役割を担い続けてきた。先代が作り上げた10種のグラスヴァリエーションが、彼の代で200種にも増えていることからも、その横顔はうかがえよう。

彼の作り上げたもう一つの偉大な業績が、グラス・テイスティング——すなわち、リーデルのグラスが持つ機能をより良く識るためのセミナーである。

グラスの開発に伴って世界中を飛び回り、テロワールを知り、生産者を知る彼だからこそできる魅惑のシラバス(学習計画)は、エンターテインメントのように魅力的である。

## 究極の味覚と嗅覚の遊戯 グラス・テイスティングとは？

ワインのスタイルやブドウ品種の特性が発揮されるよう作られたリーデルのグラスは、反対に相性の悪いワインに用いると、そのワインの未熟さや欠点を無残にも暴き立ててしまうこともある。

対象となるワインの造り手をはじめ、多くの専門家が参加するワークショップの結果は、常にエキサイティング。ほんのわずかなカット位置の差でワインの味わいが真逆に感じられたり、理論上は相性が良いはずのグラスとワインになぜか違和感を覚えたり……と、さまざまである。リーデルのグラスを用いることで劇的に理解が深められるワインの味わい、相性良いグラスを用いることでわかるワインの神髄、そして、知らずに相性の悪いグラスを用いてしまうことのもったいなさ……ゲオルグ・リーデルがグラスとワインを手に語り始めると、まるでエンターテインメントのような味覚の遊戯が始まる。彼は言う。「リーデルのグラスは決して贅沢品ではない。相性の良いワインに正しく用いれば、かえってコストパフォーマンスは高くなるのだから。つまりリーデルは、贅沢な時空間を作り出す道具なのだ——これがグラス・テイスティングの神髄である。」

## すべては口伝選ばれた 6人のエデュケーター

究極の味覚と嗅覚の遊戯、グラス・エデュケーターにマニュアルはない。すべてのカリキュラムは、ゲオルグ・リーデルの頭の中に秘められている。

世界中のワイン、否、ビールやスピリッツや日本酒に至るまで、彼の興味はどこまでも知らずその幅を広げ、ワインに対する深い知識がない人や、ワインを飲む習慣を持たない人にも、感動を与え続けている。「彼のようなグラス・エデュケーターになりたい！」という志願者も後を絶たないが、実はこのグラス・エデュケーター、資格ではない。

200種ものグラスを開発したゲオルグ・リーデルの経験から生まれたエンターテインメントなるがゆえに、その奥義のマニュアル化は不可能なのだ。そのノウハウを継承するには、ゲオルグ本人から、彼の人生を学ぶよりほかはない。現在、「グラス・エデュケーター」は、その創設者ゲオルグ・リーデルを含めても、世界にたった6人しかいない。マニュアルが存在しないため、セミナーにはエデュケーター各々の個性が表れるという。すべては口伝——それぞれの手法で、リーデルの魅力が解きほぐされてゆく知の快感は、他に比類ない。

## 4月1日(金)グランドオープン!

### 国内最大級グラス専門店

リーデル・ワイン・ブティック青山本店が  
新しく生まれ変わります  
青山ツインタワー西館 1F  
(青山一丁目駅直結)



リーデル・テイスティング・スタジオ



ワイン4種のスタンダード・コース

## グラス・テイスティングは常時、体験できます!

リーデル・ワイン・ブティック青山本店では、同じワインを異なるグラスで飲み比べ、グラス形状がいかに味わいを左右するかを体験していただくグラス・テイスティングを実施中(要予約)。店内のバーカウンターでは1名様から、また、4名様以上でお申し込みの場合は、別室(リーデル・テイスティング・スタジオ)にてご体験いただけます。料金はコース内容により異なります。詳しくはお電話でお気軽にお問い合わせください。

www.riedel.com

リーデル・ワイン・ブティック青山本店 TEL. 03-3404-4456